



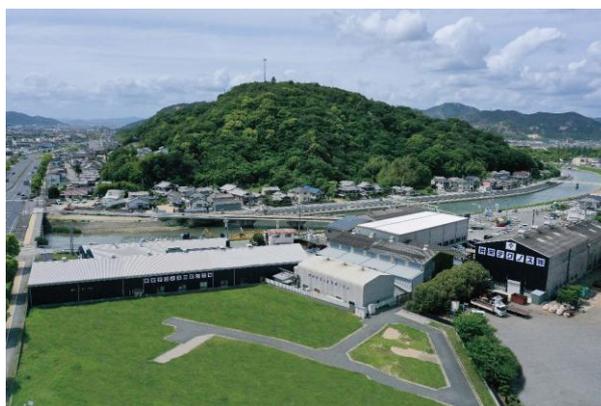
環境省
エコアクション21
認証番号0014320

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年10月～2023年12月)



本社・第一工場



第二工場

発行日： 2024年1月22日
改訂日： 2024年3月27日

1. ごあいさつ

共栄テクノ株式会社は、本社・第一、第二工場を活動範囲とし、金属製品を製造する企業です。2005年の設立以来、多くのお客様から絶大な信頼とご支援を賜りながら堅実な経営を営み、お陰様で今日を迎えるに至りました。

この度当社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境に優しい企業として、新たな一歩を踏み出しました。

これを全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に取り組んで行くことを宣言します。

環境経営方針

<環境経営理念>

共栄テクノ株式会社は、深刻化する地球温暖化などの地球環境保全が人々共通の重要課題と認識しており、金属製品の製造を通じて、地球温暖化問題への取組みや地域の環境改善問題に自主的・積極的に取組みます。

そのため環境経営システムを構築・運用することにより、継続的かつ着実に環境保全活動を行い、次世代に承継できる環境改善を目指します。

<環境保全への行動指針>

1. 環境経営の継続的改善を誓約します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
4. 不適合をなくす等、廃棄物の発生抑制に努め、リサイクル率の向上に努めます。
5. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
6. 地域や環境団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2023年9月11日

改定日：2024年7月25日

代表取締役社長

栄井 隆之

II. 組織の概要

1) 名称及び代表者名

名称：共栄テクノス株式会社
代表者名：代表取締役社長 栄井 隆之

2) 所在地

本社・第一工場 〒676-0806 兵庫県高砂市米田町塩市210-1
第二工場 〒676-0806 兵庫県高砂市米田町塩市255-1
高砂南事業所 〒676-0008 兵庫県高砂市荒井町新浜2丁目1番1号

3) 環境管理責任者及び環境事務局の氏名・連絡先

環境管理責任者 経営管理部 部長 中井健輔 TEL:079-451-5290
FAX:079-451-5291
E-Mail : k-nakai@kyoei-technos.co.jp
環境事務局 生産管理グループ 主席 松本 廣

4) 事業内容

機械器具製造業、非破壊検査事業、派遣事業
火力・原子力・バイオマス発電機器、航空機、潜水艦、工作機械、船舶などの
各種産業機器部品及び水素・アンモニアなどの次世代エネルギーを燃料とする
燃焼部品のOEM事業

5) 事業の規模

	本社・第一工場	第二工場	高砂南事業所	合計
従業員	42名	39名	61名	142名
延べ床面積	1356.74㎡	1025.00㎡	946.46㎡ 注1	3328.2㎡

エコアクション21対象従業員（本社・第一工場、第二工場） 70名（派遣事業11名除く）
注1）三菱重工業株式会社 高砂製作所 構内施設を借用

6) 事業年度 4月～翌年3月

III. 認証・登録の対象範囲

登録組織： 共栄テクノ株式会社
対象事業： 本社・第一工場、第二工場
対象外： 高砂南事業所 三菱重工業株式会社 高砂製作所のEMSのもとで活動しているため

活動： 火力・原子力・バイオマス発電機器、航空機、潜水艦、船舶などの
各種産業機器部品及び水素・アンモニアなどの次世代エネルギーを燃料とする
燃焼部品の製造及び非破壊検査



製造



機械加工



非破壊検査

事業とSDGsとの関係

当社は、2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の経済的、社会的、環境的に関わる社会問題の解決に向けた取組みを積極的に行っております。

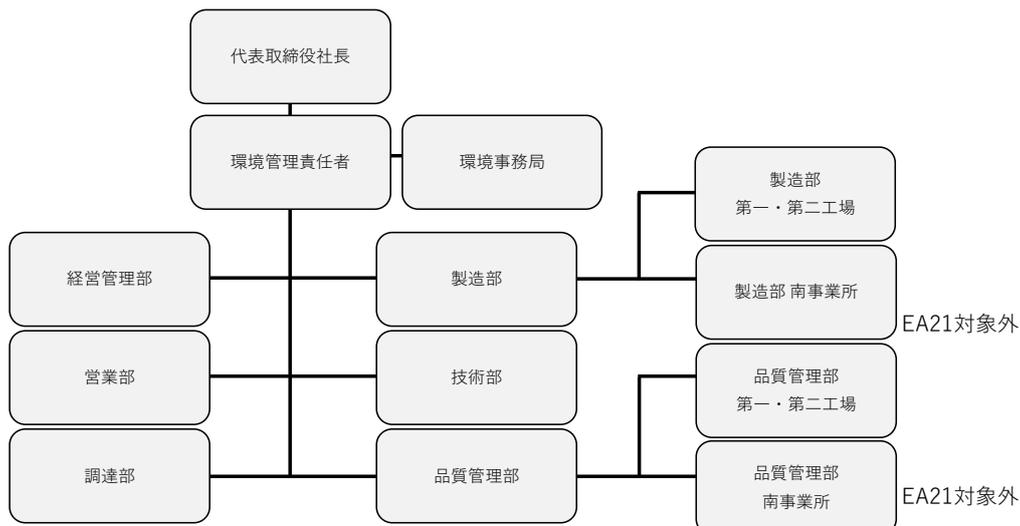
共栄テクノのSDGs宣言

お客様に喜んで頂けるものづくりを通じて、持続可能な未来の貢献します。

CO2の削減できる発電技術、「水素、天然ガス混焼タービン」、カーボンフリーである「水素タービン」の
パーツの開発・製造を通じて、脱炭素社会の実現を目指します。



IV. 環境経営実施体制



	役割・責任・権限
代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 効果的で必要十分な実施体制の構築 環境管理責任者の任命及び各自の役割・責任・権限を定め全従業員へ周知 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境活動の実績集計 環境教育訓練計画の作成と実施の管理 環境経営目標、環境経営計画書の審議 環境活動の実施状況の評価、見直し 環境教育の内容検討、実施結果の評価 特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） 環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施
部門長 (部長)	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の運用管理 緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

V. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	535,536	—	—
電力	kWh	1,394,325	—	—
ガソリン	L	7,789	—	—
軽油	L	6,200	—	—
灯油	L	4,729	—	—
液化石油ガス(LPG)	kg	95	—	—
廃棄物排出			—	—
一般廃棄物	kg	940	—	—
産業廃棄物	kg	18,990	—	—
水使用量	m ³	1,314	—	—

【特記事項】

電力の二酸化炭素排出係数(調整後)は、2020年度関西電力実績値の0.351kg-CO₂/kWhを使用。

VI. 環境経営目標と及びその実績

(1) 中期目標

項目	年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		基準年度			
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	535,250	529,898	524,545	519,193
	対基準		△ 1%	△ 2%	△ 3%
電力使用量 削減	kWh	1,394,325	1,380,382	1,366,439	1,352,495
	kg-CO ₂	489,408	484,514	479,620	474,726
	対基準		△ 1%	△ 2%	△ 3%
ガソリン 使用量削減	L	7,789	7,711	7,633	7,555
	kg-CO ₂	18,070	17,890	17,709	17,528
	対基準		△ 1%	△ 2%	△ 3%
軽油 使用量削減	L	6,200	6,138	6,076	6,014
	kg-CO ₂	15,996	15,836	15,676	15,516
	対基準		△ 1%	△ 2%	△ 3%
灯油 使用量削減	L	4,729	4,682	4,634	4,587
	kg-CO ₂	11,775	11,657	11,540	11,422
	対基準		△ 1%	△ 2%	△ 3%
II. 廃棄物排出量					
一般廃棄物 削減	kg	940	931	921	912
	対基準		△ 1%	△ 2%	△ 3%
産業廃棄物 削減	kg	18,990	18,800	18,610	18,420
	対基準		△ 1%	△ 2%	△ 3%
III. 水使用量 削減	m ³	1,314	1,301	1,288	1,275
	対基準		△ 1%	△ 2%	△ 3%
IV. 不適合製品の 削減	件	0	0	0	0
	対基準		—	—	—

注1) 液化石油ガス(LPG)は、微量のため二酸化炭素排出量に含めない。

注2) 電力の二酸化炭素排出係数(調整後)は、2020年度関西電力実績値の0.351kg-CO₂/kWhを使用。

注3) 化学物質は少量(1t/年未満)のため数値目標は設けない。

(2) 試行運用期間の実績

年度 項目	年	基準 2022年度 (10月～12月)	試行運用期間における実績 (2023年10月～12月)			
			目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2	122,397	121,173	134,316	90%	×
	対基準		△1%	+10%		
電力 使用量削減	kWh	310,079	306,978	350,758	88%	×
	kg-CO2	108,838	107,749	123,116		
	対基準		△1%	+13%		
ガソリン 使用量削減	L	2,044	2,024	2,107	96%	△
	kg-CO2	4,743	4,696	4,888		
	対基準		△1%	+3%		
軽油 使用量削減	L	1,410	1,396	1,547	90%	×
	kg-CO2	3,637	3,601	3,991		
	対基準		△1%	+10%		
灯油 使用量削減	L	2,080	2,059	932	221%	○
	kg-CO2	5,179	5,127	2,321		
	対基準		△1%	△55%		
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 削減	kg	270	267	380	70%	×
	対基準		△1%	+41%		
産業廃棄物 削減	kg	6,290	6,227	4,700	132%	○
	対基準		△1%	△25%		
III. 水使用量削減	m ³	410	406	548	74%	×
	対基準		△1%	+34%		
IV. 不適合 製品の削減	件	0	0	0	100%	○
	対基準		—	+100%		

注1)評価欄にて、

○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注2) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度 = 目標 ÷ 実績 × 100(%)、増加を目指す場合は、
達成度 = 実績 ÷ 目標 × 100(%)

Ⅶ. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画（取組内容）
二酸化炭素排出量の削減 (目標未達成)		
・下記の通り。	△	エネルギー削減活動の発信により目標はやや未達成でした。電力・ガソリン・軽油・灯油の削減活動が全従業員まで定着できていない状況。次年度も継続し削減活動を行い、目標達成できるよう活動すること。
電力使用量の削減 (目標未達成)		
不要な照明をこまめに消す	△	消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。次回も継続する。
不要な空調を消す	△	消し忘れなど、不要な空調を消すよう徹底する。次回も継続する。
空調温度の適正化	△	すべての部屋において設定温度の定着化ができるようポスター等で啓発を行う。 次年度は、空調を使用しても季節によっては室温が変化するため、作業環境に影響を与えないよう季節ごとの温度変化を確認する 次年度も積極的な取組みを実施する。
ガソリン使用量の削減 (目標やや達成)		
不要なアイドリングストップ	△	停車中のエンジンストップが不十分なところがあった。今後は徹底する。
効率的な移動	◎	営業、納品など社外の移動では、公共交通機関の使用や運送会社を使用した納品を行うなどガソリン使用量の削減ができ目標達成できた。 次年度も継続活動する。また、ハイブリッド車導入により更なる削減が期待できる。
急発進・急加速の防止	○	安全運転の呼び掛けによりできた。 次年度も積極的な取組みを実施する。
軽油使用量の削減 (目標未達成)		
不要なアイドリングストップ	○	停車中のエンジンストップの呼びかけによりできた。
効率的な移動	○	遠方への納品が増えたが、製品をまとめて納品するなど運搬回数を減らす事ができた。次年度も継続活動する。
急発進・急加速の防止	○	安全運転の呼び掛けによりできた。 次年度も積極的な取組みを実施する。
灯油使用量の削減 (目標達成)		
不要なストーブを消す	○	呼びかけにより、不要なストーブを消すことができた。
部屋開放の禁止	○	部屋の開放は呼びかけによりなくすことができた。 次年度も積極的な取組みを実施する。
一般廃棄物の削減 (目標未達成)		
分別によるリサイクルの推進	○	リサイクル紙の分別への意識は向上したと評価する。
ミスコピーの防止	○	次年度も更なる意識向上の継続活動を行う。
裏紙、両面コピーの促進	△	可能な限り裏紙、両面コピーをお願いする。 次年度も積極的な取組みを実施する。
産業廃棄物の削減 (目標達成)		
分別によるリサイクルの推進	○	分別ができ、状態が把握できるようになった。
保管場所の掲示板を設置	○	設置済みである。 実態調査を継続しながら、削減に努める。 次年度も積極的な取組みを実施する。
水使用量の削減 (目標未達成)		
節水の周知徹底	×	節水の呼びかけにより節水はできたが、工事に水を多量に使用したため目標の達成には至らなかった。
節水シールの貼付けとポスター掲示	○	ポスター等を掲示した結果、意識が向上した。
清掃時、手洗い時の節水	○	実施できた。今後もより多くの工夫ができるようにする。 次年度も積極的な取組みを実施する。
不適合製品の削減 (目標達成)		
製作事前打合せから問題点を徹底的に洗い出す	○	製作前に製作に関する問題を解決することで不適合製品の発生を抑えることが出来た。 次年度も積極的な取組みを実施する。

VIII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規	遵守すべき要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
騒音規制法	指定地域内の特定施設の届出、規制基準の遵守（第3種区域 昼間：65dB、夜間：50dB）	遵守
振動規制法	指定地域内の特定施設の届出、規制基準の遵守（第3種区域 昼間：65dB、夜間：50dB）	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守
消防法	（防火対象物）防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練の実施、消火設備・火災警報設備の点検整備、避難設備の維持 （危険物取扱所）設置許可、技術基準の遵守、危険物保安監督者の届出、定期点検の実施と記録の保存	遵守

廃棄物処理法（「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」提出）、騒音規制法及び振動規制法（特定施設の未届）について、不遵守が見られましたが、2024年7月25日の時点でいずれも正を終え、遵守しています。その他については、環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示

日本政府は気候変動対策の一環として、2050年までに「カーボンニュートラル」、2030年までに「温室効果ガスを2013年度比46%削減する」という目標を掲げ、持続可能な社会の構築に取り組んでいます。併せて当社の「環境経営理念」では、深刻化する地球温暖化問題などの環境問題を最重要課題と認識し、金属製品の製造を通じて環境改善問題に自主的・積極的に取り組むことを決意しました。当社ではこの「エコアクション21」という環境マネジメントシステムを効果的に運用し、日本政府の掲げた目標に少しでも近づく努力を全従業員で取り組んでいきたいと考えております。 当社の2022年エネルギー使用量をみると、電力が88.9%を占めていますが、試行運用期間では目標値を上回ってしまい、目標を達成できませんでした。今後の取り組みでは、電力に焦点をあて削減活動を行います。再度従業員に環境改善活動の緊急性と重要性を再認識できるよう、意識の向上に努めます。また、再度環境マネジメントシステムの見直しを行い、効率的・効果的に削減目標を達成できるよう努めます。これらを踏まえ、環境経営方針、目標、活動計画、実施体制の変更は不要と判断します。

項目	変更の可否	変更内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-

2024年1月15日
代表取締役社長 栄井隆之

X. 環境活動の紹介

【ハイブリッド車を導入/ガソリン使用量の削減】



2023年12月に4台のハイブリッド車を導入しました。

【ゴミの分別/廃棄物の削減】



一般ゴミ、古紙、廃プラスチック等ゴミの分別を行っています。

【会社周辺の美化活動】



就業前に会社周辺のゴミ拾い

